

貸家案内

舊城跡動人向金八圓五十錢

仲間町全金拾圓

全金五圓五十錢

全金四圓五十錢

全金五圓五十錢

全金四圓拾圓

高久病院

頭痛に即効薬
荒川のノーシン

特約店 大平屋薬店
電話六四二番

院長 医學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
樂局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町田町 電話五一三番

婦人科 産婦人科 平町新川町

整形外科 産科 専門医院 木村寅次郎

骨關節外科 産科 婦人科 平町新川町

露披業開 ◆科齒 神谷齒科醫院
口齒 腭科 外科 一般科 日本齒科 電話長平五〇七番
平町古銀治町八十八
神谷辰夫

科齒

入院 應需

科外

專光 上田外科醫院
門線 平町南町 電話一二九番
門科 平町南町 電話一二九番

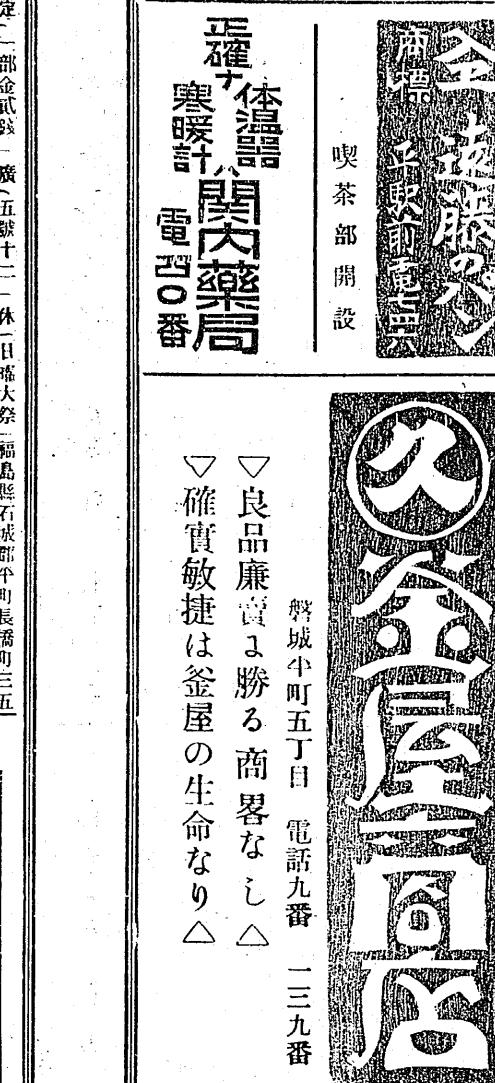
原齒科醫院 平町土橋通り電話三一一番

内科、小兒科、花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町 電話長平五〇七番

入院 應需

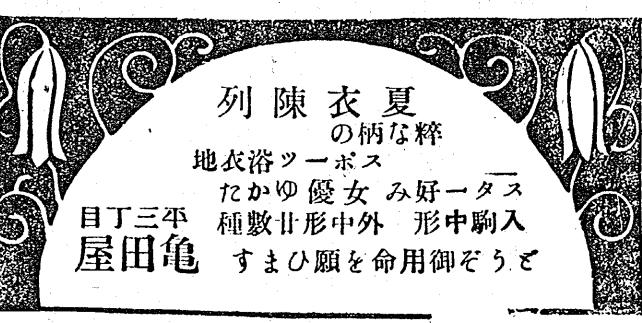


坊ちやん娘ちやんの衛生的
な食事として滋養の多い

飛切うまい松本屋のパン

食 バ バン 一斤 十六錢
甘ウミブバ ツランバ
ビーナツツケーキ
一 つ 五 錢

目丁四町平
ヤトモツマ
番四一二電話



列陳 衣夏粹
地衣浴ツボス 一優女外み好
たかゆ形中駒入
種數廿外願を命用御ぞうと
目丁三平
屋田龜

渡邊内科醫院
平町鼠坂 電話一六一一番

門專科內
一需應院入
消化器病科
呼吸器病科
小兒內科
一般內科

良品廉賣よ勝る商畧なし△
確實敏捷は釜屋の生命なり△

ヤトモツマ
番四一二電話

平町は武道に優勝 力ツブを授與さる

**昨日の石城郡青年体育大会
優勝旗は湯本**

昨報石城郡聯合青年團の体
育大會は殘暑甚だ厳しく各
選手は汗みどろとなつて奮
戦歡衆又苦熱を忘れて應援
に熱狂し頗る壯觀を呈した

が陸上競技の優勝總點數左
記の如く

- ▽一等廿八點湯本▽二
等、十八點平町▽同、同
草野、▽三等、十四點藤原
- ▽四等、十四好間第一▽
五等、六藤原▽六等、五
大野▽七等、四山田▽八
等、三永戸▽九等、一澤
渡、

五等、六藤原▽六等、五
大野▽七等、四山田▽八
等、三永戸▽九等、一澤
渡、

は湯本青年團の獲得する所
にて平及び草野惜敗優勝旗

となり次ぎに武道の優勝總
點數は

- ▽一等廿一點平町▽二
等、十點泉▽三等、六高
久▽四等、四渡邊▽五等
二豊間▽六等、一好間第
一▽同、同四倉
- の成績にて平町青年團断然

に於て平町青年團断然

と/or 三等、六高
久▽四等、四渡邊▽五等
二豊間▽六等、一好間第
一▽同、同四倉

の成績にて平町青年團断然

共済委員制度に就て (四)

福島縣庄済委員

門傳清吾

殊に秋田縣で特異なものは
方面委員として婦人に嘱託
して居ることである婦人に
關する救濟問題を取扱ふ上
に於て非常に便宜であり適
切なものであるとのことで
あります。是は本縣に於て
もいに擧るべき點ではな
いせうか。

二、夫れから農繁託児所
は縣下に二十三ヶ所あり各
個所とも平均五十名位の託
児を有し其經費は平均三十
圓で其三分の一即ち十圓位
は縣に於て補助して居るそ

ままで託児する、保育費は一

百六十円程度で其の三
分の一即ち三十圓位の

是の時

心託児所及感恩講保育所が

あり双方で約二百名の託児

を有し託児時間は午前八時

から三時頃までが普通なる

もので其の間で其の三分の一

は縣に於て補助して居るそ

ままで託児する、保育費は一

ケ月一圓なども貧困なる
人からは全然取られぬものも
あり、或は二十錢も五十錢
もありて一様ではないそ
うです。日數は十日乃至二
十日で託児の擔任者は多く
は小學校教員又は婦人會に
於て之を擔當して居るそ
うです。漸次幼稚園の形
式になつて來てゐるとのこ
とであります。市内には聖
母院の託児所を有する財團法人
組織の窮民救助機關があり
主として秋田市を中心とせ

町當局が行惱む 實行豫算の削減 差當り目につくのは 町役場の改築延期

千九百七十九圓その一割を
削減するとしても十萬六千
九百九十七圓九十錢の整理
緊縮をなさなければ少くとも
一〇倍に増加するに至らざ
るに至らないが早晩實行本
針といふやうになつたの
で遺憾なく政府の方針通り
他の關係から工事に着手す
る工事着手前に緊縮整理方
針といふやうになつたの
で先づこれを第三小學校增
築費の七萬八千圓であるが
は忍ばれる現在の役場で
間に合ふので

この方針をこゝに
水めるものではないかと觀
られてゐるが町有志並町民
間には改築促進を希望する
もの相當にあるのでその如
何は各方面から注視されて
ゐる

石城郡好間村古河炭礦上層
元卸し四邊から廿七日午前
十一時半頃突如出水あり折
柄作業中の五十餘名は辛ふ
じて避難せるも指導員群馬
縣生れ淺川藤一(三)は溺死
せるものの如く行衛不明と
なり排水作業に努力中であ
るが卅日頃から採炭に着手
する事が出来るであらうと
見られて居る

古河炭礦突如出水 一名行衛不明となる

石城郡好間村古河炭礦上層
元卸し四邊から廿七日午前
十一時半頃突如出水あり折
柄作業中の五十餘名は辛ふ
じて避難せるも指導員群馬
縣生れ淺川藤一(三)は溺死
せるものの如く行衛不明と
なり排水作業に努力中であ
るが卅日頃から採炭に着手
する事が出来るであらうと
見られて居る

鑛業税委讓

此の際貴族院

方面へ運動

前議會で貴族院で握りつぶ
しの運命に陥つた鑛業税の
町村税委讓につき石城郡湯
本、内郷、磐崎、赤井、好

間その他町村では當番幹事
の好間村長を上京させ九
州北海道地方關係町村代表
者と提携し猛運動を續けた
結果大藏省は趣旨を諒とし
政友内閣の殘務整理といふ
感情問題を超越し來議會に
到達する事であります。前半
は専ら貴族院の諒解運動
を續けることになり自下具
體的運動方法を協議中

稅務署長着發 前半
日午後一時五十六分平發列
車で家族同伴赴任した後任
署長石川八十吉氏は今二十
八日午後三時十九分平着列
車で赴任の筈

縣廳内には社會事業紹介と
稱する百四十名の會員よ
り成る團體がありて社會協
議會長屋と稱する長屋數棟を
建設して貧民にして住宅な
き者に一人月七十錢にて貯
貸し前同様に住宅難を緩和
して居るさうであります

六、其他市には公設市場
職業紹介所盲啞學校等を設
置し生活難を緩和して居る
ものは社會事業費に充當し

校級數では極度に狹隘を
感じてゐる

關係から 第三學校

より第四學校建設の聲高い
ので

学校建設の聲高い
沂柄とてこれを延期するわ
けにはゆかない状態である
とのこととで町民に給水して

ある状況で火災等の非常時
に對する防火水が心細く思
はれる危険性な水道である
ので

走高跳決勝

一等平 小林興一
(一米五〇)
二等 湯本 金子覺太郎
三等 草野 坂本 知重
四等 藤原 宗像幸一郎
五等 澤渡 長吉

剣道決勝

一等平 増田 正幸
二等 渡邊 澤田 操
三等 高久 薩谷久太郎
四等 豊間 上遠野喜太郎
五等 泉 上遠野英夫

相撲決勝

一等平 小野寺治雄
二等平 佐藤 一男
三等 泉 小林 恒
四等 泉 田邊武太郎
五等 泉 佐藤一

リレー決勝

湯本 一分四七秒十分の
三) 二藤原 三平窪

合算して 元郡衙隣

へ建設する案であるまた敷
地の賣買が完了しないその
他の關係から工事に着手す
るに至らないが早晩實行本
針といふやうになつたの
で遺憾なく政府の方針通り
他の關係から工事に着手す
る工事着手前に緊縮整理方
針といふやうになつたの
で先づこれを第三小學校增
築費の七萬八千圓であるが
は忍ばれる現在の役場で
間に合ふので

續け様に
馬貧血症發生
馬貧血症發生
この季節に馬の貧血症發生
し極めて傳染性に富んでゐ
るため非常に恐れられ昨年

馬の豫防に力めてゐる

石城郡山間部地方には年々
の爲めに馬の貧血症發生
する事で引越は九月五日頃であ
るまでの間には五六日を要する
るため引越は九月五日頃であ
ると

五頭が死
馬貧血症發生
馬貧血症發生
馬貧血症發生
馬貧血症發生
馬貧血症發生

平警察署廳舍は設計通り七
月一日から改修工事中のと
ころ工事進捗し最後の留置
所等も全く出來上がり二十
七日竣工引渡しを行つたが
署長室は元の郡長室一般内
勤事務室は元の事務大廣間
を特高課は元の穀物検査平

引越は九月五日頃
竣工引渡しを行ふ

平警察署の新廳舍

出張所に司法並刑事室は各
別々に區畫し大平署として
相應しい模様替を行つた舊
舍を引拂ひ新廳舍に引き移
るまでの間には五六日を要する
ので引越は九月五日頃であ
ると

度も入遠野方面に流行し相
當斃死してゐるので專ら警
戒中のところまたく三坂
村を中心として發生牝馬五
頭が八日斃死貧血症と判明
したので大恐慌を來し放收

馬の豫防に力めてゐる